

ソルフェージュスクール NEWSLETTER

第12号 (2022年10月)

公益財団法人
ソルフェージュスクール
2022年10月19日発行

ソルフェージュスクール 創立60周年記念演奏会 2022年6月26日(日)

創立60周年記念演奏会はいつまでも心に残る素晴らしい演奏会でした！
皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。

プログラムはソルフェージュスクールだからこそできたユニークで聴き応えのあるものでした。

前半ではソルフェージュスクールの在校生と講師による演奏を満喫。ソルフェージュスクールの子供たちのために津布楽先生が作曲して下さった曲を、子供たちは一生懸命に練習し見事に歌ってくれました。ソルフェージュの勉強をしている子供たちだからこそこの演奏でした。先生と生徒共演の、ピアノ連弾2組とヴァイオリン2本とピアノのための小曲では、合わせることの楽しさ、音楽を作り上げる喜びが伝わってきました。月1回のコーラスに中学生以上の生徒が加わった合唱のなんと美しく澄んだハーモニーの響き！心に響きました。

後半のはじめは日曜日の室内楽クラスの伴奏で華やかなモーツァルトのオペラの世界に魅了され、次は入魂のハイドンのチェロコンチェルト。続いて深く心に沁み入るアンコール。ソルフェージュスクールで学び現在は音楽界で活躍される素晴らしいソリストが私たちのために至福の時を贈って下さいました！

演奏者が共有する音楽への真摯な思いは、時を超えソルフェージュスクールに流れる通奏低音なのだと感じました。ここに以下の創立者の言葉を記し、皆様と分かち合いたいと思います。

理事長 吉村隆子

人間生活に最も大切な事は 人間相互の善意に対する信頼であり この信頼感は
真の愛情から目覚めるものであります

この愛情を育てる根本は美しい心を養うことであり この心は正しい芸術教育を
通じてさらに高められ養われるものです

特に音楽は正しいもの 美しいものに対する直接的な感動を最も情緒的に表現した
芸術でありますから 音楽教育にとってこの感動する心を養うことが最も大切な
基礎であります そのためには精神的にも肉体的にも最も感受性の鋭い幼い時から
正しい音楽の基礎教育を時間をかけて自然に体得させることが絶対に必要です この
目的のために私共は「ソルフェージュ教室」を開設しました

(創立者・大村多喜子 初期の頃のパンフレットより抜粋)



！ソルフェージュスクールの卒業生であり、現在チェリストとして各地でご活躍の林俊昭氏。ご多忙の中、特別にご出演くださいました。深く優しい音色がホールに響き渡りました。



！「フィガロの結婚」を歌って下さった河向來実さん、そして講師の江京陽子先生も、ともにソルフェージュスクールの卒業生です。このスクールで学んだ生徒たちがそれぞれ音楽の道へ進み、自らの音楽で舞台上に立ち60周年を祝ってくれるということ、とても嬉しく思います。



！中学生以上の生徒と大人のコーラスでラターを。お祝いにふさわしい華やかな雰囲気演奏会を盛り上げました。

【プログラム】

- | | |
|----------------------------|-----------|
| ・ Solfège Children | 津布楽杏里 |
| ・ ベールギュント組曲 より | グリーグ |
| ・ 4手のためのピアノソナタ
Op.6 ニ長調 | ベートーヴェン |
| ・ 5つの小品 | ショスタコーヴィチ |
| ・ Anthems より | ラター |
| ・ 歌劇「フィガロの結婚」より | モーツァルト |
| ・ チェロ協奏曲第1番 ハ長調 | ハイドン |

夏のイベント報告

創立60周年記念演奏会が終わった後も夏はイベントが盛りだくさん。「楽しくアンサンブル」「夏季合宿」とともに、子供から大人までたくさんの方にご参加いただき、皆で楽しい時間を過ごしました。今回、「楽しくアンサンブル」にご参加いただいた大泉様はソルフェージュスクール生徒の保護者でもあります。久々のアンサンブル体験はいかがだったか、ご感想を伺いました。また「夏季合宿」には、かつてソルフェージュスクールに生徒として長く在籍し、現在は石川県にお住いの窪川様がお嬢様を参加させてくださいました。そのご感想とともに、ご帰宅後の親子の会話も聞かせてくださいました(^ ^)

楽しくアンサンブル

2022年7月18日(月・祝)

♪久しぶりのアンサンブル♪

初めての参加を決めたものの、20年近くヴァイオリンの演奏から離れていたため、不安な気持ちで参りました。

練習が始まると、緊張から体がこわばってしまい、演奏の始まりの合図ができないこともありましたが、練習を続けていくうちに、一緒に演奏する方を信頼し、耳をよくコントロールすることなど多くの発見がありました。

また、各々の先生の音楽表現の解釈を聴き、一人でおさらいをしていた時よりも、音楽を立体的に感じ、深く考えることのできる時間となりました。練習の経過とともに、音楽への心配りの気持ちが生まれてきました。

最後の発表会では、みなさんの演奏を聴くことで、音楽を受け入れる自分の内面に向き合う思考の機会にもなりました。久しぶりのアンサンブルの機会でしたが、音楽にはいつまでも成長の機会があることを嬉しく思い、豊かな気持ちになりました。

【大泉三保・Vn】



↑アンサンブルには、ひとりの練習では経験できない学びがたくさんあります。お互いの音を聴き合い、呼吸を合わせて一つの曲に仕上げていきます。

【練習曲目】

- ・トリオ 長調 Ph.Em.バツハ
- ・楽しいデュエット集より

他

夏季合宿 in 目白 2022年8月12日(金)～14日(日)

♪世代交代♪

娘は年中さんの頃からピアノを習っていますが、この2年くらい停滞していました。ちょうどコロナで合宿が通学型になって小学生も参加でき、アンサンブルを通して音楽の楽しさを知れたようで、毎週のピアノ教室のモチベーションになってくれればと思います。私自身は約10年ぶりのスクールで、昔の仲間やお世話になった先生にお会いすることができ、今回は娘のお迎えだけでしたが良い時間を過ごせましたし、時間が取ればまた生徒としても参加したいと思いました。今回はありがとうございました。

【窪川陽衣良(小5・Pf) 父・敏治(ソルフェージュスクールOB)】



↑初めて会った人たち同士でも、一緒に音を合わせればあっという間に打ち解けます♪

↑2日目は台風に見舞われあいにくの大雨でしたが、津布楽先生と一緒に窓の外を眺める生徒さんたち。すっかり仲良しの4人です。



陽：お父さんも音合宿に参加してただって？

敏：中学生から大学生の間、毎年輕井沢でクラリネットを吹いて

ただよ。初めて他の楽器と合わせてみてどうだった？

陽：家でかなり練習したし、お父さんがヴァイオリンのパートを

リコーダーで吹いてくれたから曲のイメージも大体分かってたし、初めて合わせる時もそんなに緊張しなかったよ

敏：先生方はどうだった？

陽：間違ったりするともっと厳しく言われると思ってたら、みんなやさしくて良かった！

敏：本番はどうだった？

陽：練習通りできたよ。ノミスじゃなかったけど気にしない！

敏：来年以降の合宿はどうする？

陽：いろんな楽器と合わせたいな。笛とか

敏：1年ちゃんと練習してもっと上手になれば、多い人数の曲とか、いろいろな楽器が入った曲に取り組めるから頑張ってお

陽：うん！

【練習曲目】

- ・トリオソナタ VI コレツリ
- ・ヴァイオリンソナタ 1番 プラムス
- ト長調 1楽章 リュリ
- ・シャコンヌ

他



パウゼ

～ソルフェージュ教室の記憶～

今回、創立 60 周年記念演奏会でハイドンのチェロ協奏曲を聴かせてくださった林俊昭氏。ソルフェージュスクールご出身で現在はチェリストとして各地で活躍されています。今回 50 年ぶりにソルフェージュスクールに足を運び、よみがえってきた思い出などをお話しくださしました。

この度はソルフェージュスクール 60 周年に独奏者としてお招きいただき、本当にありがとうございました。私がソルフェージュ教室（※現：ソルフェージュスクール）に通いだしたのはおそらく 1962 年で、市ヶ谷の教室に兄 2 人の 1 年後くらいに行き始めたようです。先ず思い出すのは、入室して 1 年目か 2 年目に宅孝二先生が作曲した作品でスネアドラムのパートを演奏したことです。その時は打楽器奏者がいなかったの、お鉢が回ってきたのでしよう。いまだに最初の数小節のリズムを覚えています。その後、青木十良先生の生徒になり、ソルフェージュ教室でのレッスン、合奏をはじめたくさんの室内楽を経験し、演奏をさせていただきました。軽井沢でのサマーキャンプ最終日には軽井沢公会堂で演奏会があり、青木先生の素敵なチェロの音色に憧れていた私は、あたかも青木先生になったようなつもりで演奏したものです。

1962 年から 1969 年まで在籍していたように思いますが、中でも室内楽は私にとって至福の時間でした。室内楽とはこんなに楽しいものなのか、といつも思っていました。また当時の生徒たちが素晴らしかったのです！！ヴァイオリンの亀井由紀子さん、杉山みちよさん（※）、鹿又真知子さん、林さち子さん（※）、私の兄の徹也（※）、恭治、チェロの吉村隆子さん（※）、ピアノの早水和田子さん、宮下容子さん（※）、全員とても満足して勉強していました。（※の方々は現在または以前ソルフェージュスクールの講師として活躍）

そして、その後多くの方がアメリカに留学していきました。

2022 年 4 月 24 日、ハイドンのリハーサルで約 50 年ぶりに目白のソルフェージュスクールを訪れた時、このような懐かしい記憶が蘇ってきました。

【林 俊昭】



イラスト/©JunzoYoshimura

【今後の予定】

秋のおさらい会

10月23日(日)

楽しくアンサンブル

11月23日(水・祝)

クリスマスコンサート

12月18日(日)

今後の状況により変更や中止などが生じた場合は、随時ホームページや各 SNS などでお知らせします。



Facebook



Web



Instagram・Twitter

フォローお願いします♪



Instagram



Twitter

【編集後記】

本来は 2021 年が創立 60 周年にあたる年でしたが、コロナ禍の影響で、今年やっと 1 年越しの記念演奏会を行うことができました。その演奏会にソルフェージュスクール出身の奏者が出演したり、また夏季合宿にはスクール OB のお子さんが参加してくれたり、歴史を積み重ねスクールが長く愛されていることを実感する夏となりました。これからもソルフェージュスクールらしい音楽教育を続けていけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

〈生徒の皆様へのお願い〉

- ・マスクをご着用ください
- ・スクールに到着時、入り口で検温と手消毒をお願いします
- ・体調がすぐれない場合は無理せずお休みください

〈スクールの取り組み〉

- ・講師・スタッフはマスク着用
- ・手洗い、手消毒の徹底
- ・スクール内設備、室内、共有物の都度消毒
- ・レッスンごとの換気、ピアノの拭き掃除
- ・レッスン中も生徒と一定の距離をとる
- ・歌うことは最小限に抑える
- ・空気清浄機、加湿器の導入